

ダイワ・インドネシア・ルピア債オープン (年1回決算型)

運用報告書(全体版) 繰上償還

(償還日 2025年3月27日)

(作成対象期間 2024年10月18日～2025年3月27日)

受益者のみなさまへ

毎々、格別のご愛顧にあずかり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、インドネシア・ルピア建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしており、信託期間中につきましてもそれに沿った運用を行ないました。ここに、謹んで運用状況と償還の内容をお知らせいたします。

今後とも一層のお引立てを賜りますよう、お願い申し上げます。

大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号
お問い合わせ先(コールセンター)
TEL 0120-106212
(営業日の9:00～17:00)
<https://www.daiwa-am.co.jp/>

★当ファンドの仕組みは次の通りでした。

商品分類	追加型投信/海外/債券		
信託期間	2013年9月5日～2028年10月17日		
運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行ないます。		
主要投資対象	ベビーファンド	ダイワ・インドネシア・ルピア債マザーファンドの受益証券	
	ダイワ・インドネシア・ルピア債マザーファンド	インドネシア・ルピア建債券	
組入制限	ベビーファンドのマザーファンド組入上限比率	無制限	
	マザーファンドの株式組入上限比率	純資産総額の10%以下	
分配方針	分配対象額は、経費控除後の配当等収益と売買益(評価益を含みます。)等とし、原則として、信託財産の成長に資することを目的に、配当等収益の中から基準価額の水準等を勘案して分配金額を決定します。ただし、配当等収益が少額の場合には、分配を行なわないことがあります。		

最近5期の運用実績

決算期	基準価額			JPMorgan GBI-EM インドネシア（円換算）		公社債 組入比率	純資産 総額
	（分配落）	税込み 分配金	期中 騰落率	（参考指数）	期中 騰落率		
	円	円	%		%	%	百万円
8 期末 (2021年10月18日)	15,091	0	21.1	19,699	25.1	94.8	33
9 期末 (2022年10月17日)	17,850	0	18.3	23,366	18.6	92.3	63
10 期末 (2023年10月17日)	19,029	0	6.6	25,125	7.5	94.8	71
11 期末 (2024年10月17日)	20,355	0	7.0	27,797	10.6	94.7	77
償 還 (2025年 3月27日)	19,100.88	—	△ 6.2	26,319	△ 5.3	—	61

(注1) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注2) JPMorgan GBI-EM インドネシア（円換算）は、JPMorgan GBI-EM インドネシア（インドネシア・ルピアベース）をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。JPMorgan GBI-EM インドネシア（インドネシア・ルピアベース）は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債組入比率は、マザーファンドの組入比率を当ファンドベースに換算したものを含みます。

(注6) 公社債組入比率は新株予約権付社債券（転換社債券）および債券先物を除きます。



運用経過

基準価額等の推移について



* 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。

* 分配金を再投資するかどうかについては、お客さまがご利用のコースにより異なります（分配金を自動的に再投資するコースがないファンドもあります）。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客さまの損益の状況を示すものではありません。

基準価額・騰落率

設定時：10,000円

償還時：19,100円88銭（既払分配金0円）

騰落率：91.0%（分配金再投資ベース）

基準価額の主な変動要因

インドネシア・ルピア建ての債券に投資した結果、主に債券からの利息収入と金利の低下（債券価格は上昇）がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「設定以来の投資環境について」をご参照ください。

ダイワ・インドネシア・ルピア債オープン（年1回決算型）

年 月 日	基 準 価 額		J P モ ル ガ ン G B I - E M イ ン ド ネ シ ア (円 換 算)		公 社 債 組 入 比 率
		騰 落 率	(参 考 指 数)	騰 落 率	
(期首) 2024年10月17日	円	%			%
	20,355	—	27,797	—	94.7
10月末	20,421	0.3	27,863	0.2	94.3
11月末	19,744	△ 3.0	27,019	△ 2.8	94.9
12月末	20,438	0.4	27,865	0.2	95.2
2025年1月末	19,866	△ 2.4	27,275	△ 1.9	95.2
2月末	19,232	△ 5.5	26,425	△ 4.9	—
(償還) 2025年3月27日	19,100.88	△ 6.2	26,319	△ 5.3	—

(注) 騰落率は期首比。

設定以来の投資環境について

（2013. 9. 5 ~ 2025. 3. 27）

■インドネシア債券市況

インドネシア債券市場の金利は低下（債券価格は上昇）しました。

インドネシア債券市場では、当ファンド設定日から2015年末にかけて、金利は上下に動きつつもレンジで推移しました。2016年初めから8月末にかけては、世界的な景気悪化懸念や商品価格の下落でインフレ率が低下する中、中央銀行が大幅な利下げを実施したことで、金利は低下しました。その後、11月の米国大統領選挙でのトランプ氏勝利を受けて金利が上昇（債券価格は下落）する場面もありましたが、2017年は世界経済が安定する中でインドネシアへの資金流入が続き、金利は低下しました。2018年には、世界的な株価急落や米中貿易摩擦を背景に新興国市場から資金が流出し、通貨防衛のために中央銀行が利上げを実施したため、金利は上昇しました。その後、市場の落ち着きとともに中央銀行が金融引き締め姿勢を後退させたことで、2019年は金利低下が進みました。2020年は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けてリスク回避姿勢が強まり、金利が上昇する場面もありましたが、インフレ率の低下や利下げを受けて、金利は低下基調に転じました。2021年は金利は横ばい圏で推移しましたが、2022年はインフレ率の上昇を受けて利上げ観測が高まり、金利は上昇しました。2023年以降は、インフレ率が低下する中でも中央銀行が金融引き締め姿勢を維持したため、金利は方向感に欠ける動きとなりました。

■為替相場

インドネシア・ルピアは対円でおおむね横ばいでした。

インドネシア・ルピア対円為替相場は、当ファンド設定日から2014年末にかけて、日銀の金融緩和策の強化を受けて円安が進み、上昇（円安）しました。2015年以降は、中国経済の減速懸念や世界的な景気悪化懸念に加え、商品価格の下落などを背景に、ルピアは対円で下落（円高）しました。2016年11月の米国大統領選挙におけるトランプ氏の勝利が一時的に円安に作用したものの、2018年以降の米中貿易摩擦の激化や、2020年の新型コロナウイルス感染拡大によるリスク回避姿勢の強まりなどから、ルピアの対円での下落が続きました。2021年以降は、世界的に円安基調に転じる中で、資源価格の上昇やインドネシアの利上げによる日本との金利差拡大などを背景に、ルピアは対円で上昇しました。

信託期間中の運用方針

■当ファンド

「ダイワ・インドネシア・ルピア債マザーファンド」の受益証券を通じて、インドネシア・ルピア建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

■ダイワ・インドネシア・ルピア債マザーファンド

インドネシア・ルピア建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

インドネシアの政府および政府関係機関ならびに国際機関等が発行する債券に投資します。金利水準や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。金利リスク、種別構成を柔軟に調整しつつ、投資妙味の高いインドネシア・ルピア建債券をポートフォリオに組み入れます。

信託期間中のポートフォリオについて

（2013.9.5～2025.3.27）

■当ファンド

「ダイワ・インドネシア・ルピア債マザーファンド」の受益証券を通じて、インドネシア・ルピア建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。

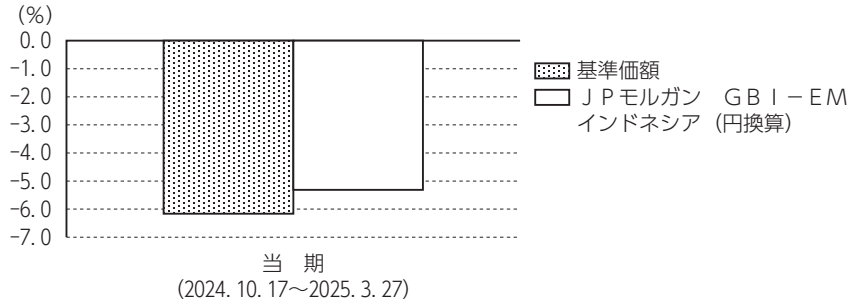
■ダイワ・インドネシア・ルピア債マザーファンド

インドネシア・ルピア建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざしました。債券ポートフォリオは、インドネシア国債および国際機関債で運用しました。

ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

以下のグラフは、当作成期における当ファンドの基準価額と参考指数との騰落率の対比です。参考指数はインドネシア債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。



分配金について

信託期間中の収益分配は、経費控除後の配当等収益が計上できなかったまたは少額であったため、行いませんでした。

受益者のみなさまにおかれましては、当ファンドをご愛顧いただき厚く御礼申し上げます。今後とも証券投資信託の運用につきましては、受益者のみなさまのご期待に沿えますよう万全を期して努力する所存でございますので、一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

1万口当りの費用の明細

項 目	当 期 (2024. 10. 18～2025. 3. 27)		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
信 託 報 酬	129円	0.648%	信託報酬＝当作成期中の平均基準価額×信託報酬率 当作成期中の平均基準価額は19,922円です。
（投 信 会 社）	(58)	(0.290)	投信会社分は、ファンドの運用と調査、受託会社への運用指図、基準価額の計算、法定書面等の作成等の対価
（販 売 会 社）	(67)	(0.339)	販売会社分は、運用報告書等各種書類の送付、口座内での各ファンドの管理、購入後の情報提供等の対価
（受 託 会 社）	(4)	(0.019)	受託会社分は、運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
売 買 委 託 手 数 料	—	—	売買委託手数料＝当作成期中の売買委託手数料／当作成期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
有 価 証 券 取 引 税	—	—	有価証券取引税＝当作成期中の有価証券取引税／当作成期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
そ の 他 費 用	17	0.088	その他費用＝当作成期中のその他費用／当作成期中の平均受益権口数
（保 管 費 用）	(4)	(0.019)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管および資金の送金・資産の移転等に要する費用
（そ の 他）	(14)	(0.069)	インドネシア国債キャピタルゲイン税、信託事務の処理等に関するその他の費用
合 計	147	0.736	

(注1) 当作成期中の費用（消費税のかかるものは消費税を含む）は追加、解約によって受益権口数に変動があるため、項目の概要の簡便法により算出した結果です。

(注2) 各金額は項目ごとに円未満を四捨五入してあります。

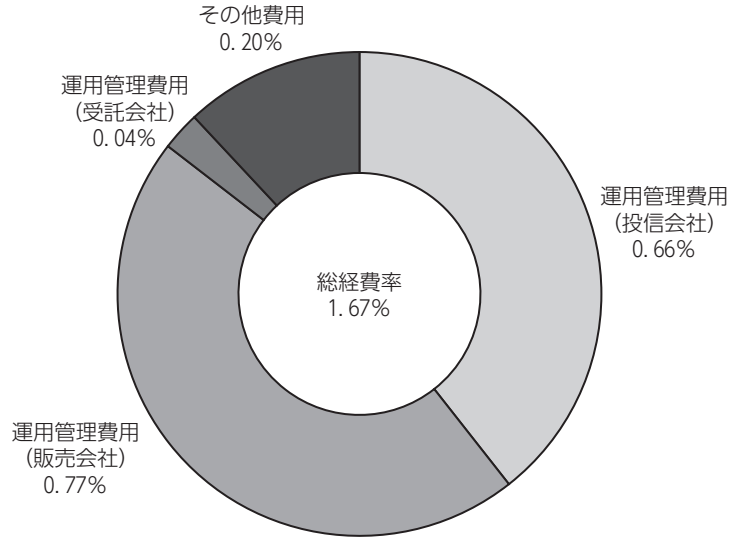
(注3) 各比率は1万口当りのそれぞれの費用金額を当作成期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、小数点第3位未満を四捨五入してあります。

(注4) 組み入れているマザーファンドがある場合、売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、当該マザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。組み入れている投資信託証券（マザーファンドを除く。）がある場合、各項目の費用は、当該投資信託証券が支払った費用を含みません。なお、当該投資信託証券の直近の計算期末時点における「1万口当りの費用の明細」が取得できるものについては「組入上位ファンドの概要」に表示することとしております。

参考情報

■ 総経費率

当作成期中の運用・管理にかかった費用の総額を、期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当り）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.67%です。



(注1) 1万口当りの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

ダイワ・インドネシア・ルピア債オープン（年1回決算型）

■売買および取引の状況

親投資信託受益証券の設定・解約状況

（2024年10月18日から2025年3月27日まで）

	設 定		解 約	
	□ 数	金 額	□ 数	金 額
	千口	千円	千口	千円
ダイワ・インドネシア・ルピア債マザーファンド	225	610	28,577	73,002

（注）単位未満は切捨て。

■利害関係人との取引状況等

当作成期中における利害関係人との取引はありません。

■組入資産明細表

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

親投資信託残高

種 類	期 首
	□ 数
	千口
ダイワ・インドネシア・ルピア債マザーファンド	28,351

（注）単位未満は切捨て。

■投資信託財産の構成

2025年3月27日現在

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
	千円	%
コール・ローン等、その他	65,636	100.0
投資信託財産総額	65,636	100.0

（注）評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年3月27日現在

項 目	償 還 時
(A) 資産	65,636,257円
コール・ローン等	65,635,382
未収利息	875
(B) 負債	3,764,305
未払解約金	3,272,638
未払信託報酬	491,667
(C) 純資産総額 (A - B)	61,871,952
元本	32,392,197
償還差損益金	29,479,755
(D) 受益権総口数	32,392,197口
1万口当り償還価額 (C / D)	19,100円88銭

* 期首における元本額は37,940,533円、当作成期間中における追加設定元本額は442,551円、同解約元本額は5,990,887円です。

* 償還時の計算口数当りの純資産額は19,100円88銭です。

■損益の状況

当期 自 2024年10月18日 至 2025年3月27日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	2,050円
受取利息	2,050
(B) 有価証券売買損益	△ 3,573,257
売買益	574,081
売買損	△ 4,147,338
(C) 信託報酬等	△ 491,667
(D) 当期損益金 (A + B + C)	△ 4,062,874
(E) 前期繰越損益金	19,867,668
(F) 追加信託差損益金	13,674,961
(配当等相当額)	(10,574,072)
(売買損益相当額)	(3,100,889)
(G) 合計 (D + E + F)	29,479,755
償還差損益金 (G)	29,479,755

（注1）信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しております。

（注2）追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。

投資信託財産運用総括表

信託期間	投資信託契約締結日	2013年9月5日		投資信託契約終了時の状況	
	投資信託契約終了日	2025年3月27日		資産総額	65,636,257円
区分	投資信託契約締結当初	投資信託契約終了時	差引増減 又は追加信託	負債総額	3,764,305円
				純資産総額	61,871,952円
受益権口数	1,000,000口	32,392,197口	31,392,197口	受益権口数	32,392,197口
元本額	1,000,000円	32,392,197円	31,392,197円	1単位当り償還金	19,100円88銭

毎計算期末の状況

計算期	元本額	純資産総額	基準価額	1単位当り分配金	
				金額	分配率
	円	円	円	円	%
第1期	20,357,900	21,284,690	10,455	0	0.00
第2期	23,815,701	26,075,425	10,949	0	0.00
第3期	25,847,037	29,826,273	11,540	0	0.00
第4期	33,707,376	43,554,003	12,921	0	0.00
第5期	25,065,864	26,569,214	10,600	0	0.00
第6期	27,909,410	35,081,027	12,570	0	0.00
第7期	23,619,815	29,422,621	12,457	0	0.00
第8期	22,512,982	33,974,890	15,091	0	0.00
第9期	35,500,453	63,366,626	17,850	0	0.00
第10期	37,521,853	71,399,782	19,029	0	0.00
第11期	37,940,533	77,229,387	20,355	0	0.00

(注) 1単位は受益権1万口。

償還金のお知らせ	
1万口当り償還金	19,100円88銭

ダイワ・インドネシア・ルピア債マザーファンド

運用報告書 繰上償還（償還日 2025年3月26日）

（作成対象期間 2024年10月18日～2025年3月26日）

ダイワ・インドネシア・ルピア債マザーファンドの運用状況をご報告申し上げます。

★当ファンドの仕組みは次の通りでした。

運用方針	信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行いません。
主要投資対象	インドネシア・ルピア建債券
株式組入制限	純資産総額の10%以下

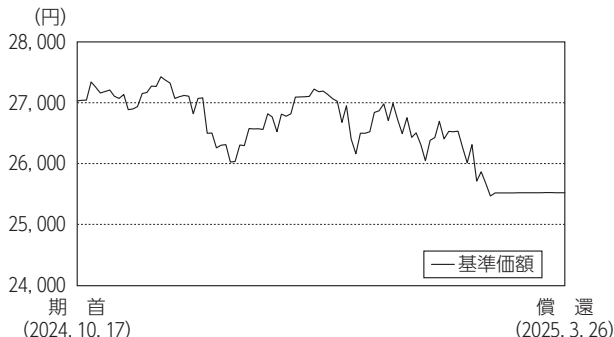
大和アセットマネジメント

Daiwa Asset Management

大和アセットマネジメント株式会社
東京都千代田区丸の内一丁目9番1号

<https://www.daiwa-am.co.jp/>

■ 当作成期中の基準価額と市況等の推移



年月日	基準価額		JPMorgan GBI-E M インドネシア (円換算) (参考指数)		公社債 組入比率
	円	%	騰落率	%	
(期首) 2024年10月17日	27,033	—	30,303	—	95.4
10月末	27,136	0.4	30,376	0.2	95.0
11月末	26,261	△ 2.9	29,455	△ 2.8	95.7
12月末	27,225	0.7	30,377	0.2	95.9
2025年1月末	26,492	△ 2.0	29,734	△ 1.9	95.9
2月末	25,670	△ 5.0	28,808	△ 4.9	—
(償還) 2025年3月26日	25,521.55	△ 5.6	28,540	△ 5.8	—

(注1) 騰落率は期首比。

(注2) JPMorgan GBI-E M インドネシア (円換算) は、JPMorgan GBI-E M インドネシア (インドネシア・ルピアベース) をもとに円換算し、当ファンド設定日を10,000として大和アセットマネジメントが計算したものです。JPMorgan GBI-E M インドネシア (インドネシア・ルピアベース) は、信頼性が高いとみなす情報に基づき作成していますが、J.P. Morganはその完全性・正確性を保証するものではありません。本指数は許諾を受けて使用しています。J.P. Morganからの書面による事前承認なしに本指数を複製・使用・頒布することは認められていません。Copyright 2016, J.P. Morgan Chase & Co. All rights reserved.

(注3) 海外の指数は、基準価額への反映を考慮して、現地前営業日の終値を採用しています。

(注4) 指数値は、指数提供会社により過去に遡って修正される場合があります。上記の指数は直近で知り得るデータを使用しております。

(注5) 公社債組入比率は新株予約権付社債券 (轉換社債券) および債券先物を除きます。

《運用経過》

◆ 基準価額等の推移について

【基準価額・騰落率】

設定時：10,000円 償還時：25,521円55銭 騰落率：155.2%

【基準価額の主な変動要因】

インドネシア・ルピア建ての債券に投資した結果、主に債券からの利息収入がプラス要因となり、基準価額は上昇しました。くわしくは「設定以来の投資環境について」をご参照ください。

◆ 設定以来の投資環境について

○ インドネシア債券市況

インドネシア債券市場の金利はおおむね横ばいでした。

インドネシア債券市場では、当ファンド設定日から2011年1月末にかけて、インフレ率の上昇を背景に利上げ観測が高まり、金利は上昇 (債券価格は下落) しました。2月から2012年12月末にかけては、インフレ率の低下を背景とした利下げに加え、大手格付会社によるインドネシア国債の投資適格級への格上げも好感され、金利は低下 (債券価格は上昇) しました。2013年は、首都ジャカルタの洪水や政府の輸入規制でインフレ率が高まったほか、F R B (米国連邦準備制度理事会) が量的緩和の縮小を示唆したことで投資家が新興国市場から資金を引き揚げる動きが強まり、インドネシア国債も売られたため、金利は上昇しました。2014年から2015年にかけては、金利は上下に動きつつもレンジで推移しました。2016年初めから8月末にかけては、世界的な景気悪化懸念や商品価格の下落でインフレ率が低下する中、中央銀行が大幅な利下げを実施したことで、金利は低下しました。その後、11月の米国大統領選挙でのトランプ氏勝利を受けて金利が上昇する場面もありましたが、2017年は世界経済が安定する中でインドネシアへの資金流入が続き、金利は低下しました。2018年には、世界的な株価急落や米中貿易摩擦を背景に新興国市場から資金が流出し、通貨防衛のために中央銀行が利上げを実施したため、金利は上昇しました。その後、市場の落ち着きとともに中央銀行が金融引き締め姿勢を後退させたことで、2019年は金利低下が進みました。2020年は、新型コロナウイルスの感染拡大を受けてリスク回避姿勢が強まり、金利が上昇する場面もありましたが、インフレ率の低下や利下げを受けて、金利は低下基調に転じました。2021年は金利は横ばい圏で推移しましたが、2022年はインフレ率の上昇を受けて利上げ観測が高まり、金利は上昇しました。2023年以降は、インフレ率が低下する中でも、中央銀行が金融引き締め姿勢を維持したため、金利は方向感に欠ける動きとなりました。

○ 為替相場

インドネシア・ルピアの対円為替相場はおおむね横ばいでした。

インドネシア・ルピア対円為替相場は、当ファンド設定日から2013年4月末にかけて、大手格付会社によるインドネシア国債の格上げや日銀の異次元緩和を受け、上昇 (円安) しました。しかし、5月にF R B (米国連邦準備制度理事会) が量的緩和の縮小を示唆したことで、ルピアは対円で下落 (円高) に転じました。2014年は、日銀の追加緩和を受けて円安が進み、ルピアは対円で上昇しましたが、2015年以降は、中国経済の減速懸念や世界的な景気悪化懸念に加え、商品価格の下落などを背景に、ルピアは再び対円で下落しました。2016年11月の米国大統領選挙におけるトランプ氏の勝利が一時的に円安に作用したものの、2018年以降の米中貿易摩擦の激化や、2020年の新型コロナウイルス感染拡大によるリスク回避姿勢の強まりなどから、ルピアの対円での下落が続きました。2021年以降は、世界的に円安基調に転じる中で、資源価格の上昇やインドネシアの利上げによる日本との金利差拡大などを背景に、ルピアは対円で上昇しました。

◆ 信託期間中の運用方針

インドネシア・ルピア建債券に投資することにより、信託財産の着実な成長と安定した収益の確保をめざして運用を行います。

インドネシアの政府および政府関係機関ならびに国際機関等が発行する債券に投資します。金利水準や物価の動向、経済情勢や市場環境等を勘案し、ポートフォリオを構築します。金利リスク、種別構成を柔軟に調整しつつ、投資妙味の高いインドネシア・ルピア建債券をポートフォリオに組み入れます。

◆ 信託期間中のポートフォリオについて

インドネシア・ルピア建債券に投資し、信託財産の着実な成長と安

ダイワ・インドネシア・ルピア債マザーファンド

定した収益の確保をめざしました。債券ポートフォリオは、インドネシア国債および国際機関債で運用しました。

◆ベンチマークとの差異について

当ファンドは運用の評価または目標基準となるベンチマークを設けておりません。

当作成期における当ファンドの基準価額と参考指数の騰落率は、「当作成期中の基準価額と市況等の推移」をご参照ください。参考指数はインドネシア債券市場の動向を表す代表的な指数として掲載しております。

■1万口当りの費用の明細

項目	当期
売買委託手数料	—円
有価証券取引税	—
その他費用	263
（保管費用）	(8)
（その他）	(255)
合計	263

(注1) 費用の項目および算出法については前掲しております項目の概要をご参照ください。

(注2) 項目ごとに円未満を四捨五入しております。

■売買および取引の状況

公社債

(2024年10月18日から2025年3月26日まで)

		買付額	売付額
外国	インドネシア	千インドネシア・ルピア 国債証券	千インドネシア・ルピア 46,644,105 (—)
		特殊債券	— (19,785,642 (—)

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) ()内は償還による減少分で、上段の数字には含まれておりません。

(注3) 単位未満は切捨て。

■主要な売買銘柄

公社債

(2024年10月18日から2025年3月26日まで)

買付		売付	
銘柄	金額	銘柄	金額
	千円		千円
		Indonesia Treasury Bond (インドネシア) 8.375% 2034/3/15	306,098
		Indonesia Treasury Bond (インドネシア) 9.5% 2041/5/15	86,968
		INTL. BK. RECON&DEVELOPMENT (国際機関) 4.75% 2027/1/21	70,793
		EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT (国際機関) 4.25% 2028/2/7	57,753
		Indonesia Treasury Bond (インドネシア) 8.75% 2044/2/15	31,872
		EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT (国際機関) 4.6% 2025/12/9	26,962
		EUROPEAN BK RECONSTRUCTION & DEVELOPMENT (国際機関) 6.17% 2025/3/10	25,238

(注1) 金額は受渡し代金（経過利子分は含まれておりません）。

(注2) 単位未満は切捨て。

■組入資産明細表

最終期末における有価証券等の組み入れはありません。

■投資信託財産の構成

2025年3月26日現在

項 目	償 還 時	
	評 価 額	比 率
コール・ローン等、その他	千円 480,475	% 100.0
投資信託財産総額	480,475	100.0

(注) 評価額の単位未満は切捨て。

■資産、負債、元本および基準価額の状況

2025年3月26日現在

項 目	償 還 時
(A) 資産	480,475,765円
コール・ローン等	480,469,360
未収利息	6,405
(B) 負債	—
(C) 純資産総額 (A - B)	480,475,765
元本	188,262,792
償還差損益金	292,212,973
(D) 受益権総口数	188,262,792口
1万口当り償還価額 (C / D)	25,521円55銭

* 期首における元本額は252,246,181円、当作成期間中における追加設定元本額は1,144,074円、同解約元本額は65,127,463円です。

* 償還時における当マザーファンドを投資対象とする投資信託の元本額：
 ダイワ・インドネシア・ルピア債オープン (毎月分配型) 162,927,785円
 ダイワ・インドネシア・ルピア債オープン (年1回決算型) 25,335,007円

* 償還時の計算口数当りの純資産額は25,521円55銭です。

■損益の状況

当期 自 2024年10月18日 至 2025年3月26日

項 目	当 期
(A) 配当等収益	15,234,408円
受取利息	15,234,408
(B) 有価証券売買損益	△ 43,878,839
売買益	619,997
売買損	△ 44,498,836
(C) その他費用	△ 6,357,667
(D) 当期繰越損益金 (A + B + C)	△ 35,002,098
(E) 前期繰越損益金	429,656,820
(F) 解約差損益金	△ 104,390,953
(G) 追加信託差損益金	1,949,204
(H) 合計 (D + E + F + G)	292,212,973
償還差損益金 (H)	292,212,973

(注1) 解約差損益金とは、一部解約時の解約価額と元本との差額をいい、元本を下回る場合は利益として、上回る場合は損失として処理されます。

(注2) 追加信託差損益金とは、追加信託金と元本との差額をいい、元本を下回る場合は損失として、上回る場合は利益として処理されます。